

# 第1回 子育て教育部会 ワークシート

## 1 めざすべき将来像

### 経営課題1 みんなで子どもを育てるまちづくり

子育てや教育に様々な人や団体等がかかわることで、子育て教育環境が良い、みんなで子どもを育てるまちにする。

#### 【具体的取組】

➤ 子育て家庭への支援

地域子育て支援事業、子育て OH えんフェスタ事業、家庭児童相談運営事業、未就学児のための子育て支援事業、出産・育児サポート事業

➤ 子どもの居場所づくり

子どもの居場所ネットワーク事業

➤ ニーズに応じた学校への支援

発達障がいサポート事業、学校活性化推進事業

➤ 子どもの体験・学習機会の充実

青少年健全育成事業

## 2 取組の現状

➤ 子育てを通じて感じる不安を軽減し、悩みを相談できず孤立する養育者をなくすため、東住吉区内のさまざまな子育て支援機関で構成する子育て支援連絡会と連携し、親子で参加できる事業や悩みや困りごとを相談できる機会の提供、子育てに役立てる情報紙を定期的に発刊するなど、幅広く情報提供する支援を行っている。

➤ 重大な児童虐待ゼロをめざし、子どもに関わる機関と連携を密にした取組を進めるとともに、ヤングケアラーをはじめ、子どもの成長に大きな影響を及ぼす問題を可能な限り解消するために、周囲の大人が気づき、行動し適切な福祉につなぐことができる、地域全体で支援が必要な子どもを見守る環境づくりのサポートに取り組んでいる。

(子ども居場所の開設からのサポート、子育て、児童虐待、ヤングケアラー等の相談)

➤ 新型コロナウイルス感染症の影響で、社会全体に活動が制限されるなか、育児不安の軽減につとめるため、親子で参加できる事業や相談する機会を増やすなど、実施方法や周知方法を工夫した支援に取り組んでいる

(「親子サロン」、「地域妊産婦教室」への参加が難しい場合、新しい機会として「母乳相談」を増設、月1回開催)

➤ 小中各学校の課題や、学校のニーズに応じて「教育活動サポート事業」や「魅力ある学校づくり応援団」の拡充などの支援を行うとともに、子育て世代に関心の高い分野で、子どもの学習・体験機会を提供する事業を実施するなど、教育支援

に取り組んでいる。

気になるキーワードは

「孤立に気づく」「親子の見守り」「つながりの再生」

### 3 今後、懸念されること

#### 今後の懸念①

- 「子どもの権利を守り、将来の不利益となる状況におかない」ために、公的機関を含め、周囲のあらゆる大人が成長を見守る環境づくりが必要。
- ヤングケアラーの言葉は広く認知されてきたが、当事者の子ども自身は気づきにくい。周囲の大人が気づいたとして、どのようなケアや対応が求められるか。

#### 今後の懸念②

- 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、社会生活が制限され、できるだけ大勢では集まらないようにしてきたけれど、せっかくできた関係やつながりが希薄になり、孤立しがちになっている。
- 子どもが置かれている閉塞的な状態も解消してあげたい。
- いろいろな場面で親も子も関係性を再構築したい。どんな工夫ができるだろうか？

上記のような懸念を解消するため、既に行われている有効な取り組みや、ヒントについて様々な角度からご意見ををお願いします。

メモ